

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2004年

3月号

平成16年2月25日発行
通巻63号

県民の日記念行事(交流会)参加団体募集

新しい「公」はだれ?

今まで公といえば、その任を一手に引き受けてきたのは国家。県でいえば県行政でした。21世紀を迎えた今一寸立ちどまり、公ってイコール行政だけなの?とみんなで考えてみませんか。20世紀、とり分け戦後の経済は高度成長を遂げ、国民総生産も個人所得も大きく伸びました。そしてそのプロセスで、都市への人口流出や核家族化など、それまでの日本社会のあり方を、良くも悪くもかつてないほど変化させてしまいました。しかし今や、経済をはじめとして右肩上がりに発展してきた社会は収束し、成熟社会に突入しています。人々の関心は物の豊かさから心の豊かさへ。画一的価値観から多様な価値観、生き方へと変化しています。当然それに伴いニーズも多様化複雑化しています。

しかし今や、経済をはじめとして右肩上がりに発展してきた社会は収束し、成熟社会に突入しています。人々の関心は物の豊かさから心の豊かさへ。画一的価値観から多様な価値観、生き方へと変化しています。当然それに伴いニーズも多様化複雑化しています。

正しく、大きな転換期への突入です。それらの多様なニーズに応えようとする時、平等を旨として公を担ってきた行政だけでは、限界がきています。

これからの三重県を創造する公は県民ひとり一人。そう あなたなのです。4月18日、多様なニーズや地域の課題解決に取り組んでいるボランティア・NPOなど、多様な個人や団体がアスト津3Fのフロアを彩りましょう。是非おでかけください。そしてあなたも、新しい三重県を創造する公の担い手になってください。

(特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター 理事長 田部真樹子)

- とき/4月18日(日) AM10:00~PM4:00(予定)
- ところ/アスト津3階みえ県民交流センター
- 応募締切/3月12日(金)
- 問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1 特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター(担当:竹村浩) Tel.059-232-0270 Fax.059-232-0271
- 514-0004 津市栄町1-891 三重県政策開発研修センター(担当:古金谷豊) Tel.059-224-2789 Fax.059-224-2594

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPOチームのホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階)/オールウェイズ(津センターバレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市小玉町3045-1)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬の上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

アスト de プロデューサー 4 岡嶋多華夫

キャッチボール

NPOが社会的に注目され、行政ではNPOとの協働事業が主流になりつつある今、事業を進める上でお互いのキャッチボール(意見交換)の仕方に注目してみましょう。

相手に向かって投げるボールが的に納まらない、力いっぱい投げてしまい相手も動かず(またはよける)見送ってしまう、といった傾向の方は両者の真ん中にクッションとなる人をおいて、相手に届きやすくさせることをオススメします。相手がよりキャッチし易いボールを自分で工夫して投げる、相手がキャッチしてくれたら嬉しいですね。そして相手からボールを投げ返してくれると更に嬉しいですよ。やっとな相手の反応がわかるわけです。

きちんと受け止め、相手を思いやって投げかけましょう。たかがキャッチボール、されどキャッチボール。奥が深いですね。(でも本人はノーコン)

ボランティアコーディネーターってなんだ?? 9 野村希代

先日、近所の小さな商店へ買い物に出かけました。初めて行ったお店だったのですが、「こんにちは」「いらっしゃい」という挨拶を交わしたあと、「今日は寒いですね」と、お店の人と少しだけ話をしました。どの店に行っても、「いらっしゃいませ」や「ありがとうございます」と言われているはずなのですが、その店の買い物はなんだか違っていました。

現在、学校の教科として「総合的な学習の時間」が設けられ、子どもたちが地域へ出ていったり、地域の人を学校に招いたりして、調べ学習や体験学習を展開しています。社会福祉協議会のボランティアコーディネーターも、「福祉教育」を行う中で地域の大人と学校を結ぶ機会を提供していますが、1日だけの体験だったり、学年が変わったりして、せっかく出会っても、関係が継続しないこともしばしばあります。

私が訪れた商店でいつもと違う気がしたのは、私という個人を認識した上で挨拶をもらった気がしたからでしょう。「個」と「個」がお互いを認識しあって初めて、また会いたいとかまた行きたいと感じるのだと思います。ボランティアセンターが展開する福祉教育も、出会った人同士の関係がその後も続くよう、子どもと地域の大人が「個」と「個」として出会える仕掛けが必要なのかもしれません。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

特定非営利活動法人認証申請団体と 成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は6団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)二見けいかつ塾(2)櫻本博(3)度会郡二見町大字江566番地9
- (1)三重スローライフ協会(2)大原眞太郎(3)松阪市伊勢寺町551番地1
- (1)伊賀救援隊(2)近藤俊一(3)名張市桔梗が丘5番町4街区6番地
- (1)バスネット津(2)福本吉光(3)津市栗真小川町863番地28
- (1)なかよし保育所(2)向田茂子(3)伊勢市勢田町642番地3
- (1)まんまんらい(2)西山ひろ子(3)熊野市井戸町652番地の10
(平成16年1月13日～平成16年2月13日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人 在宅支援サービス青空(15年6月27日)
- 特定非営利活動法人 居宅介護支援ほほえみ(15年12月25日)
- 特定非営利活動法人 居宅支援システムまごの手(16年1月9日)
- 特定非営利活動法人 伝統工芸体験センターIN IGA秋生(16年1月22日)
- 特定非営利活動法人 障害者福祉チャレンジド・ネット(16年1月29日)
(平成16年1月13日～平成16年2月13日届出分)

イベントスケジュール

友達じゃない16才の2人が開く絵画展

- とき/2月28・29日(土・日)
- AM11:00～PM5:00
- ところ/アスト津3階交流スペース
- 参加費/入場無料
- 内容/絵を描くことが大好きで、本気で画家を目指していることが共通点という二人の16才、石山浩達さんと岩名泰岳さんの絵画展です。ぜひご覧ください。感想、批評もお待ちしています。
- 問い合わせ先/石山浩達 Tel.0599-45-8030



文化庁委嘱事業

地域歴史講演会『織田・豊臣政権と北伊勢』

- とき/3月6日(土)PM1:30開場 PM2:00～
- ところ/いなべ市員弁町コミュニティプラザ
(Tel.0594-74-4144) ●参加費/無料
- 内容/講師は三重大学教授、藤田達生さんです。なお、NPO法人スプリングでは文化ボランティアを募集しています。
- 申込方法/Faxの場合は所定の申込書を利用。E-mailの場合は所属会社、住所、氏名、年齢、電話、Fax番号を明記して下記まで。
- 主催・申込・問い合わせ先/NPO法人スプリング
Tel.0594-74-3868 Fax.0594-74-3923
E-mail spring@npo-spring.org
ホームページ http://www.npo-spring.org/

第⑥回こどもひろば

- とき/3月6日(土)AM9:30～PM2:30
- ところ/津友の家(津市半田尺目2226-86)
- 参加費/200円(3才以上、実習も含む)
- 内容/こどもたちのやってみよう!できた!という気持ちを大切に、生活の中のいろいろな体験を通して大人もこどもも共に「よくみる、よくきく、よくする」の学びの場をと願っています。
- 問い合わせ先/津友の家 Tel.059-225-9150(昼間のみ)
西 Tel.059-225-4931 山下 Tel.059-229-2132
- 主催/津友の会

キッズ&アーツ2004春

(特)三重県子どもNPOサポートセンターは子どもの全人格成長を目指し、三重県内の子どもと子どもを取り巻く大人や団体と事業展

開しています。今回は子どもの文化体験事業として、芸術性の高い2作品の公演を行いました。

- 【演劇集団円公演「私の金子みすゞ」】
- とき/3月8日(月)PM7:00開演
- ところ/四日市市文化会館第2ホール
- 参加費/小学生～18才2500円 大人3000円
- 内容/童謡詩人、金子みすゞの二十六年の生涯とその作品を、弟である正祐の日記でつづります。
- 【パフォーマンスシアター水と油「見えない男」】
- とき/3月17日(水)PM7:00開演
- ところ/三重県総合文化センター中ホール
- 参加費/小学生～18才3200円 大人3800円
- 内容/前代未聞の総合的視覚による舞台表現を繰り広げる、舞無パフォーマンス集団。マイム?アクロバット?演劇?ダンス?コミカルで、シニカル。4人のスピーディな視覚空間を感じてください。
- 申込・問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1
(JR一身田駅前) (特)三重県子どもNPOサポートセンター
Tel.059-232-0270 Fax.059-232-0271
E-mail mie-kodomo-npo@za.ztv.ne.jp

キッズシアター『太陽の王子ホルスの大冒険』

- とき/3月13・14日(土・日)AM10:00 1日1回のみ上映
- ところ/伊勢進富座(伊勢市曾祿2-8-27 Tel.0596-28-2875) ●参加費/800円
- 内容/キッズシアターは、親子で楽しめる懐かしのアニメ映画などを映画館で観てもらおうという企画です。『太陽の王子ホルスの大冒険』は、スタジオ・ジブリ作品でおなじみの高畑勲が初めて監督を務めた作品。原画担当には宮崎駿も名を連ね、スタジオ・ジブリの萌芽が感じられる名作です。
- 問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター実行委員会
Tel.0596-28-4109またはTel.0596-23-0839
(受付時間PM7:00～PM10:00)

那須英彰氏講演会

- とき/3月14日(日)PM1:30～PM3:30
- ところ/三重県人権センター多目的ホール
- 参加費/非会員1500円 津会員500円 市外会員800円
- 内容/NHK手話ニュースアナウンサーである那須英彰さんの講演。テーマは「ろうあ者人物伝 飛鳥時代～大正時代」。三重県では初めての内容です。当日は託児(おやつ代300円)、読み取り通訳もあります。
- 応募締切/3月7日(日)
- 申込・問い合わせ先/津市ろうあ福祉協会事務局 Fax.059-223-2037

もっとNPO!

- とき/3月20日(土)PM1:00～PM4:00
- ところ/アスト津4階アストホール
- 参加費/1000円
- 内容/市民活動もNPO活動も基本となる考え方はわかっている、実践に移すとなかなか大変!実際にNPOの運営に携わりつつ、全国の市民活動・NPOのために日夜奮闘している二人、市民フォーラム21NPOセンター事務局次長、石井伸弘さんと、日本NPOセンター事務局長、田尻佳史さんのノウハウをいただきまーす!
- 申込・問い合わせ先/四日市市民活動センター
Tel.0593-50-0201 Fax.0593-50-0203
E-mail kobominato@yahoo.co.jp
- 主催/三重県、NPO法人地域づくり考房みなと、明和町市民活動サポートセンター、W.T.Aまちづくりセンター

第2回桑員まるごとエコパーティー

- とき/3月20日(土・祝)AM10:30～PM4:00
- ところ/長島町「輪中の郷」(長島町大字西川1093)
- 参加費/1000円(活動応援投票券、食事券つき)
- 内容/桑員弁生活創造圏ビジョン推進組織である「桑員エコリーグ」では、自然や環境をキーワードに活動している人、関心のある人のためのエコな交流の場として「桑員まるごとエコパーティー」を開催します。活動プレゼン大会や長島ランチ&2市4町味めぐりなどの楽しめる内容になっています。みなさん一緒に楽しみましょう。

●主催・申込・問い合わせ先／北勢県民局企画調整部桑名市駐在
桑員エコリーヴ(事務局:坂枝) Tel.0594-24-3600
Fax.0594-24-3675 E-mail wkikaku@pref.mie.jp

次世代子育て・子育て支援フリーマーケット
第2回はいれ一つ@あおやま



- とき／3月21日(日)AM10:00~PM3:00
- ところ／青山福祉センター・青山町社会福祉協議会内
- 参加費／直参1スペース500円 委託10点800円(先着順・営利目的の方は参加できません) 購入入場者は無料
- 内容／子育て中の人や子育て中の子どもが、気軽にでかけられる場所の提供と、趣味の品の販売を通じた世代間交流が目的です。館内はじゅうたんのため、赤ちゃん連れでも安心です。赤ちゃん用品、子ども用品、古着、古本、玩具、不要な日用品、自分で育てた鉢植え、野菜、手作りの手芸品、服、工芸品、木工品、同人誌、絵はがき、その場でできるネイルアート、占いなどの出店をお待ちしています。
- 応募締切／3月12日(金)必着
- 申込方法／専用紙に代金を添えて。(前払制・キャンセル不可)
- 申込・問い合わせ先／名賀郡青山町阿保1988-1 青山町社会福祉協議会(月~金曜、AM9:00~PM4:00) Tel.0595-52-2999 Fax.0595-52-3555
- 企画実行／次世代子育て・子育て支援福祉ボランティアあおやま子どもLOVE&FIRE

福祉の理想郷づくり
介護予防拠点施設づくりの講演会

- とき／3月28日(日)AM10:00~正午
- ところ／名張市総合福祉センターふれあいホール(名張市丸之内79) ●参加費／無料
- 内容／『福祉のまち名張』をつくるため、先進地である愛知県高浜市の取り組みの現状を高浜市福祉部長寿課の主事、木村忠好さんのお話をうかがいます。高浜市では市民のボランティアにより、介護保険制度の対象とならない高齢者などの自立した日常生活を支援するための施設を提供しています。
- 問い合わせ先／名張市市民活動率先協働事業 実行委員会事務局 生きがいクラブ内(委員長:岡田賢一) Tel.0595-64-2987
- 主催／NPO法人ナルク、伊賀名張生きがいクラブ
- 共催／名張市社会福祉協議会、名張市老人クラブ連合会、名張市ボランティア連絡協議会、地域づくり協議会委員会、厚生年金受給者協会名張支部会、名張をおもう女性の会

第4回合同低学年文化芸術体験
演劇集団円「どうぞのいす」

- とき／4月24日(土)AM11:00、PM2:00
- ところ／ときわ文化センター(子どもの本メリーゴーランド2階)
- 参加費／前売2000円 当日2500円
- ※入会金500円、月会費1300円を支払って入会した方は無料で見ることができます。
- 内容／四日市まんなか子ども劇場、子育て広場ドロップin、(特)体験ひろば☆こどもスペース四日市の3団体による合同の企画です。うさぎさんがつくった小さな「どうぞのいす」をめぐる、いろんな動物が登場するこの芝居は幼児が「はじめて出会う小さな劇」として企画されたもの。対象年齢は3才~小学校1年生です。
- 申込・問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670(火~土曜 AM10:00~PM5:00) E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp

ネットワークのよびかけ

『津市市民活動センター事務局長』募集

仕事内容は事務局のまとめ、津市市民活動センターの運営、セミナーや会議などへの出席です。できればNPO経験者の方で、自宅でもメールやインターネットを使用できる環境にある方を希望します。他の仕事と掛け持ちでもOKです。

- 応募締切／3月10日(水) ●勤務時間／非常勤

(週1~2回、事務局の様子を見に来ていただける方)

- 給与／月給5万円
- 提出物／履歴書(書式自由、写真必須)、作文(A4サイズの用紙1枚程度、テーマ「これからの支援センターに必要なもの」、手書き不可)
- 問い合わせ先／514-0027 津市大門7-15 津センターバース3階 津市市民活動センター Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

三重の子どもたちのための
資金サポート応援団募集!



- 自己肯定感や自尊感情を持たず、苦悩する子どもたちが増えています。指導しない指示しない18才までの子ども専用電話「NPO法人MIEチャイルドライン」・薬物依存者の回復活動「三重ダルク」・不登校の子どもたちの居場所・学びの場「フリースクール」三重シュレ」私たちが3団体は、子どもたちが本来持つ「自ら育つ力」のサポート活動やこうした力が育める社会づくりへの提言を行っていますが、残念ながら資金不足が大きな課題で、まだまだ十分な活動が実施できないのが現状です。そこで、本年4月、3団体による資金サポートの会を立ち上げ、互いに協力しあって資金づくりを行っていきたくと考えています。資金づくりのスタッフとして一緒に関わっていただける方(ボランティア)を募集していますので、関心のある方、ぜひご連絡ください。
- 問い合わせ先／514-0006 津市広明町328番地津ビル1階 NPO法人三重にフリースクールを作る会「三重シュレ」(石山佳秀) Tel.059-213-1115

2004春アウソス古着集荷キャンペーン

- アウソスジャパン住民の自立を支援する会(以下アウソス)は中南米最貧国の1つホンジュラスの住民の自立を支援する団体です。団体名の「アウソス」とはホンジュラスの言語であるスペイン語で「自立」を意味する単語の略語です。ホンジュラスにて、小学校建設や水道・トイレ設置、マングローブ植林などの活動を行います。アウソスの名称のとおり、私たちの団体も経済的な自立を目指していきます。団体運営を会費収入や助成金、寄付金等だけに頼らないで、団体が自ら事業を行いその収益によって活動を進めていきます。その事業として古着の国際リサイクル活動を行います。日本で古着を集荷しホンジュラスでバザーを行い、その収益によって上記の活動を進めていきます。今回は以下の要領で古着を集めます。
- 募集期間／3月15日(月)~4月30日(金)
 - 募集するもの／春夏秋物衣類(冬物は受け取れません)
 - 送付・問い合わせ先／073-0046 北海道滝川市扇町2丁目22番25号 アウソス古着係 アウソスジャパン住民の自立を支援する会 Tel.0125-22-7877、090-6875-5363 E-mail nihon@ausos.org ホームページ <http://www.ausos.org>

環境コミュニティ・ビジネス事業公募説明会

- 経済産業省では、地域における事業者、NPO、市民等が連携した環境に配慮したまちづくりに資する「環境コミュニティ・ビジネス」を発掘し、その展開を支援することを通じて、持続的かつ効率的な環境負荷の低減を図ることを目的として委託事業「企業・市民等連携環境配慮活動活性化モデル事業(環境コミュニティ・ビジネス事業)」を行っています。平成16年度の公募説明会の日程は以下の通りです。なお、本事業の事業概要及び応募要項については、下記URLにて2月下旬頃から公開します。
- http://www.meti.go.jp/policy/eco_business/community/index.html
 - とき／3月1日(月)PM2:00~PM4:00
 - ところ／アイリス愛知2階大会議室(名古屋市中区丸の内2-5-10) Tel.052-223-3751)
 - 申込方法／出席者登録票をFax。
 - 問い合わせ先／460-8510 名古屋市中区三の丸2-5-2 中部経済産業局 産業企画部 環境・リサイクル課(担当:杉山、伊藤) Tel.052-951-2768 Fax.052-951-2568 E-mail qchbnk@meti.go.jp ホームページ http://www.chubu.meti.go.jp/kanky/com_biz.htm

助成金 ニュース

平成16年度国際ボランティア貯金の 寄附金配分団体公募

- 受付締切/平成16年3月15日(月)(当日消印有効)
- 対象となる民間援助団体/次の要件をすべて満たすこと。
 - 1、民間の発意に基づく開発途上にある海外の地域の住民の福祉の向上に寄与するための援助(天災その他、非常の災害が生じた場合におけるその災害を受けた海外の地域の住民の緊急の需要を満たすための援助を含む)に関する事業を実施する、営利を目的としない民間の団体であること。
 - 2、日本国内に事務所を置き、かつ、代表者が定められ、意志決定及び活動の責任の所在が明確な団体であること。
- 対象事業の期間/平成16年7月1日(木)~平成17年6月30日(木)
- 応募方法等/配分申請書は電話またはE-mailにて、住所、氏名、会の名称、電話番号、希望の送付方法(郵送またはE-mailに添付)を下記まで連絡するか、ホームページよりダウンロードして使用。応募は申請書に添付資料を各1部(印鑑証明書、団体規約、団体役員名簿等)添えて、配達記録郵便にて送付。
- 問い合わせ・申請先/日本郵政公社 郵便貯金事業本部 ボランティア貯金担当 100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2
Tel.03-3504-4137 E-mail ax000052@japanpost.jp
ホームページ <http://www.yu-cho.japanpost.jp/volunteer-post/>

(財)日本国際交流センター リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金

- 受付締切/3月26日(金)必着
- 助成の対象となる団体/下記1、2の分野の場合、日本国内に活動拠点を置く民間非営利団体。法人格の有無、活動年数は問いませんが、優先対象地域の設定があります。(三重県は優先対象外)
- 3分野の場合、1または2分野の活動を行っている団体で、当基金の助成を過去に受けたことのある助成団体。
- 助成の対象となる活動/1、HIV/エイズ…予防と感染者・患者へのケアを目的とする活動。
 - 2、経済的自立の支援…社会的に不公正な立場におかれている人々の経済的自立を支援する活動。
 - 3、組織基盤強化…特定のプロジェクトへの助成ではなく、団体の組織基盤を拡充したり、事業を実施する能力を向上させるための戦略的な組織力構築(キャパシティビルディング)
- 対象事業の期間/平成16年8月~平成17年7月
- 助成の額/1事業あたり上限200万円
- 応募方法/応募要項などはホームページよりダウンロード。郵送希望の場合は下記まで連絡。
- 問い合わせ先/(財)日本国際交流センター リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金(担当:伊藤、光前) 106-0047 東京都港区南麻布4-9-17 Tel.03-3446-7781、03-3446-7954(月~金曜 AM10:00~PM5:00) Fax.03-3443-7580
E-mail Levi_fund@jcie.or.jp
ホームページ <http://www.jcie.or.jp/levi/>

ヤマト福祉財団 障がい者福祉助成金

- 受付期間/3月1日(月)~3月31日(水)消印有効
- 但し、奨学金の供与受付は5月10日(月)まで
- 助成の対象/障害者の自立と社会参加及び生産力アップなどに直結する事業。
 - 【1、一般助成】
 - (1)障がい者施設の改善、整備、備品などの購入に対する助成。
 - (2)各種会議、講演、研修事業に対する助成。
 - (3)各種出版、啓発活動などに対する助成。
 - (4)各種調査、研究事業に対する助成。
 - (5)文化事業、スポーツ活動などに対する助成。
 - 【2、ボランティア活動助成】
 - (1)各種会議、講演、研修事業に対する助成。
 - (2)各種出版、啓発活動事業に対する助成。
 - (3)文化事業、スポーツ活動などに対する助成。
 - 【3、障がいのある大学生に対する奨学金の供与】

- 助成の額/1は1件あたり上限100万円。2は1件あたり上限30万円。3は月額5万円(返済の必要はありません)
- 応募方法/1と2は助成金申請書を郵送にて申込む。3は奨学金申込書に必要事項を記入し、所定の書類を取り揃えのうえ、郵送にて下記まで。なお、助成申請書は申請書は下記まで請求するか、ホームページからダウンロード。奨学金申込書用紙は下記までFax、E-mailにて申込むこと。
- 問い合わせ先/(財)ヤマト福祉財団(福祉助成金事務局)
104-0061 東京都中央区銀座2-12-15
Tel.03-3248-0691 Fax.03-3542-5165
E-mail y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp
ホームページ <http://www.yamatofukushizaidan.or.jp/>

財団法人まちづくり市民財団

- 受付期間/3月1日(月)~3月31日(水)必着
- 【まちづくり助成金】
- 助成の目的/「パートナーシップによるまちづくり」を基本テーマとして、「働き、生活する地域に「誇り」を持ち、地域固有の歴史や文化・自然を大切にしたいまちづくり」を実践する市民活動を応援します。
- 助成の対象となる活動/
 - 1、郷土の遺産(産業遺産・歴史的建造物など)の保存・活用
 - 2、郷土の民話、伝統芸能・技術・工芸の伝承と後継者の育成
 - 3、地域の自然環境の改善
 - 4、地域の生活環境・都市景観の改善(街並み、街路樹、歩道、公園、用水路など)
 - 5、まちづくり市民意識の高揚に資する活動ただし、原則として青年会議所単独の事業は助成の対象となりません。
- 対象事業の期間/平成16年4月1日~平成17年3月31日
- 助成の額/1件50万円を限度とし、事業内容等選考のうえ金額を決定。
- 【アウトドア・クラスルーム事業登録】
- 助成の目的/テーマは「子供とまちづくり」。自らのまちを愛し、美しくしたいという素朴な気持ち。身近な所から子供たちとともに作り上げていく楽しさ。そんなまちづくりの原点ともいえる活動を応援します。
- 助成の対象となる活動/1、地域の子供たちが参加して実施される事業であること。
 - 2、まちづくりの楽しみを育む事業であること。
 - 3、パートナーシップの精神で様々なひとたちの参加があること。
 - 4、単なるガーデニングや個人的喜びに終わるものでなく、まちの景観づくりを通じ、郷土愛を育む事業であること。
 - 5、継続事業であること。
- 支援内容/1、事業計画をもとに「まちづくり市民財団登録事業」の証(プレート)を発行。
 - 2、企画費・記録費として10万円を交付。
 - 3、必要に応じ企画などの相談対応。
 - 4、関係情報誌などで優秀事業を発表予定。
 - 5、希望があれば各種の情報交流事業に参加できます。

- 応募方法/「助成金交付申請書」または「登録申請書」を下記まで請求するか、ホームページからプリントアウト。必要事項を記入したあと必要書類を添付して郵送。「まちづくり助成金係」または「アウトドア・クラスルーム事業登録係」とそれぞれ明記し、分けて送付すること。
- 問い合わせ先/(財)まちづくり市民財団 102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 日本青年会議所館内 Tel.03-3234-2607
Fax.03-3234-5770 E-mail machizkr@interlink.or.jp
ホームページ <http://home.interlink.or.jp/~machizkr/>

リコー中部販売グループ地域環境活動助成プログラム グリーンプロモーション2003

- 受付期間/4月1日(火)~5月12日(月)消印有効
- 助成の対象となる団体/リコー中部販売グループの販売地域(三重県ほか)において市民主導で環境保全活動を行う市民活動グループ。法人格の有無・規模・実績は問いませんが、行政や大学・企業などが主導のものや、年間予算500万円を越えるグループは対象外。
- 助成の対象となる活動/環境保全に貢献するテーマ活動プロジェクトで、以下の1~5のいずれかに該当するもの。グループにとって新規に実施するもの、これまで継続的に行ってきた活動を充実させるもの、いずれの応募も可能。
 1. 自然環境の保全活動
 2. 体験型環境教育・学習
 3. 普及・啓発、そのための調査研究
 4. 地域のネットワーク形成や街づくり
 5. その他の環境改善活動

- 対象事業の期間／平成15年8月～平成16年3月(複数年にわたる継続的テーマは平成16年3月時点の目標が達成できることが条件)
- 助成の額／1件あたり上限20万円。最大で10テーマへの助成を予定。
- 応募方法／所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送又はE-mailで下記窓口まで提出。
- 問い合わせ先／NPO法人市民フォーラム21・NPOセンター(注意:リコー中部ではありません) 450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPOプラザなごや(担当:安井・石井) Tel.052-586-1154 Fax.052-586-1174 E-mail yasui@sf21npo.gr.jp ホームページ <http://www.r-chubu.ricoh.co.jp/ecology/top/> (リコー中部)

(財)庭野平和財団 活動助成(前期分)

- 受付期間／3月15日(月)～4月30日(金)必着
- 助成の対象となる団体・個人／個人・団体のいずれでも申請できます。(一個人、一団体につき一件の申請に限ります)申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、継続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動／【宗教的精神に基づく社会・平和活動】神仏への畏敬の念から発して、広く社会及び個人の生活における物心両面の福祉に寄与しようとするものであり、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・ボランティア活動・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への

- の対策などの活動。
- 【地域のエンパワメントを創生する活動】地域のエンパワメントを創生するために、様々な団体・個人がともに深い精神性・祈りをもって開かれる、集いやワークショップに助成を行います。理論と活動の相乗効果による新しい価値観の創造を期待します。
- 助成の額／1件あたり上限100万円。
- 応募方法／申請する事業の内容が「活動」であることを明記し、住所、氏名、職業(職場・研究所などまで詳しく)、電話番号を明記し、官製ハガキ、書簡、Fax、E-mailのいずれかで申請書類を請求するか、ホームページからダウンロード。申請は必ず書留にて送付。
- 問い合わせ先／(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9シャンヴィラ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4372 Fax.03-3226-1835 E-mail program@npf.or.jp ホームページ <http://www.npf.or.jp/>
- ※研究助成もあります。詳細はホームページを参照ください。

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

各地のネットワークづくり

桑名地区

まちのファンクラブ
510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733
E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

まちのファンクラブでは、1月に「新春! 多度まちづくり談話」とうたって、多度町でまちづくりをしている方たちと交流会をしました。多度神社や多度山(たどさん)の歴史を聞き、観光農業を起し普及させた話、「多度川づくりワークショップ」、「多度町のまちかど博物館」、まもなく完成する「多度町史」などのお話を聞きました。食生活改善推進協議会のみなさんの菜膳や、鯉こくや押し寿司などもおしょうばんさせていただき、多度の名物八豆をつくっている八軒の全部の豆を食べて、座もにぎやかにほくほくと楽しませていただきました。

その二週間ほど後、「くわなワンディウォーク実行委員会」のコースの現地調査で、桑名駅から多度神社まで12、3キロほどを歩く機会がありました。美濃街道という昔ながらの道は、地形にそってゆるやかにカーブしていて歩いてそれほど疲れません。ちょっとした裏山からの広がる風景、いきいきとした土地の万屋さん、畑中の地道、竹林、街道沿いの堂々とした旧家の塀、多様な顕彰碑やお地蔵さん、人との関わりが薄くなっ

て荒れてしまった川辺、使われなくなった古水道、多度祭りに使う馬道…自然と人の営みの中でさまざまに工夫され、風雪を経たらしの風景に、交流会のときに聞いたお話が重なって、ゆたかな里歩きになりました。

そのお話の中で、「多度神社はみんなの神棚」というお話がありました。そうか、するとみんなのお庭は公園で、みんなのお風呂がお風呂屋さん、みんなの客間は…みんなの台所は…というように、まちのいろいろな「機能」をつくってきたまちの人たちの長い時間の積み重ねを思いました。みんながかかわって自分たちのくらしを支えてきたのだと。その人々の営みの積み重ねがまちの風景に現れていて、味わい深いひとときになったのだなと思えました。そういえば先日桑名市ボランティア協議会の講演会で、早瀬昇さん(大阪ボランティア協会の事務局長で日本NPOセンターの常務理事)が、「ボランティアは「自発」からはじまるから、ちがってあたりまえ」と語っていたことを思い出しました。その土地、そのくらしにかかわる人たちが自分たちの思いでそれぞれに自発的に取り組むからこそ、その土地ならではのゆたかさが育まれるのだなと感じました。多度でお豆をつくっている八軒のお店のよう、それぞれにいろいろな「みんな」があって、それがまちで多様な輝きを見せてくれているのだとも感じました。

北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと 常務理事 辻本晴美
Tel.0593-46-4581 Fax.0593-50-0203 E-mail kobominato@yahoo.co.jp

もっとNPO

こういうタイトルの催しを3月20日、アスト津4階のアストホールで、開催します。各地域の中間支援団体のネットワークが出来て、いろいろな支援が出来ていけばいいなという気持ちから開催するものです。今、すでにスタートしている交流会もありますので、そこから、またつながりが出来ていけばいいなと思います。(詳しくは、イベント情報をご覧ください)



最近人にすすめられた本を読む機会が何度か有りました。

『13歳のハローワーク』村上龍氏
この世の中にはいろいろな職業があって、なんと生きていけるなと思いました。

『旧暦と暮らす』松村賢治氏
今、私たちの使っているグレゴリオ暦は世界標準ではなく、多くの国民が独自

の暦で暮らしています。それは、その地域の実情に合っているからです。究極のエコロジカルな暮らしを提案する松村氏の語るアジア時間には、季節の移り変わりに実感があります。

『電気的一般常識』後藤尚久氏監修
省エネルギーの親分みたいなLEDでスタンドを作ろうと思ったのですが、電気の知識が足りない指摘されて。

こうして、いろいろな人にすすめられているいろいろな本を読んでみて、ふと、これがNPOやなとおもいました。いろいろあって、いろいろな考えがあって、別々のことみたいだけれど相互に関係がある。上の3冊も別のことみたいですが、今私の考えていることには不可欠。それを、偶然とはいえ人様からおすすめていただいたタイミング。世の中は、ちゃんとうまく廻っていくのだなとうれしい気持ちがあります。もうすぐ春。今年は閏月が2月に入ります。ひな祭りは、新暦で4月21日にあたります。このころには、桃の花も実際咲きそうですね。

■メイキング・オブ・伊勢市民活動センター

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

市民と市の職員が一緒にテーブルに着いた
 「市民活動センター検討会」はどんな風に進められたのでしょうか？

裏方さん 市民・準備会が担った役割を見てみよう！

【その1】はじまり
 提案！

市民活動支援センターが設置されると聞いた市民グループが、行政だけで決めてしまわず、利用者である市民活動団体に参加してもらって、みんなで検討する機会を持つことを提案しました。

手回しVTRでめくって

●その理由は…
 支援される側である市民活動団体としては、開設/運営のプロセスから参加していなければ、センターができて「行政から与えられた施設」という感覚となり、それでは市民の責任や行政のパートナーとしての自覚は生まれにくいのではないのでしょうか。市民活動団体/NPOを「施設の利用者」とどめないために、計画のプロセスを共有して、それを行政と市民の協働の場の第一歩としましょう！ということから。

ということで伊勢市はその提案を受け入れ、『伊勢志摩NPOネットワークの会』のメンバーをはじめ、数人に声をかけ、市民有志による検討会の準備会がスタートしました！

準備会の役割は、検討会の企画および会議運営

準備会は市民スタッフ5名+市職員3名で進められました。目的は『伊勢市にとってよりよい市民活動センターにするため』市民と行政と一緒に話し合う場づくりです。

参加した市民みんなが発言の機会を持ち、でてきた意見を、みんなで合意をしながら、目に見える形で、効率よくまとめていくためには、それなりの準備が必要です。準備会は、会議の組み立てをして、少ない回数でしっかり話し合いをするために下準備をしました。

■市民準備会の役割

★会議資料作成 ★会議運営(進行) ★意見とりまとめ ★議事録作成
 ★情報交換、連絡のためのメーリングリストの設置/運営 などを行いました。

よくある委員会・審議会のように行政に事務局おまかせ～！というわけにはいかず、みんなで役割を分担。日頃それぞれのNPO活動をしている30代～50代のメンバーが、時間を調整して集まり毎回白熱した事前ミーティングを持ち、検討会本番に臨みました。(準備会の市民メンバーは、市民活動への熱意や、いろんな意見を人一倍持っているのに、検討会議では進行役になってしまったら思っていることをなかなか発言できなくて、歯がゆいところがあったとか…)

やるからには責任もって、いい仕事を！

その2 会議進行～「運営方針のまとめ」につづく

伊勢市民活動センター(仮称) 準備事務局

現在も団体登録すれば、会議などに利用できます。開館時間内の施設への出入りはフリー。市民活動の情報展示がされているので、情報の発信、収集などに利用を。

稼働中!

【伊勢市市民活動拠点施設設置準備事務局】

住所 伊勢市岩淵1丁目2-29 (外宮前)

伊勢シティープラザ南館

電話 0596-20-4385

開館日 月曜～金曜(祝日、年末年始は除く)

時間 午前9時～午後5時

※お問合せは…伊勢市 市民交流課
 TEL.0596-21-5549まで

W.T.A 秋祭りセンター情報

TEL:0595-24-7612 090-3302-0627
 FAX:0595-22-0072
 E-MAIL: nag:4743@ezweb.ne.jp

秋祭りセンター情報

10月27日(土) 19:30 南津 上里市文化会館 さまざまホール

4F 1F あり 4000 (当日500円) 2F 3000 (3500円)

★高校生以下は当日学生証提示で半額700円

- ・PAPA GROWS Funk (from 2-11)
- ・山岸 潤作

上里市文化都市協会 (0595-22-0511) さま

秋祭りセンター情報

10月27日(土) 19:30 南津 上里市文化会館 さまざまホール

4F 1F あり 4000 (当日500円) 2F 3000 (3500円)

★高校生以下は当日学生証提示で半額700円

- ・PAPA GROWS Funk (from 2-11)
- ・山岸 潤作

上里市文化都市協会 (0595-22-0511) さま

秋祭りセンター情報

10月27日(土) 19:30 南津 上里市文化会館 さまざまホール

4F 1F あり 4000 (当日500円) 2F 3000 (3500円)

★高校生以下は当日学生証提示で半額700円

- ・PAPA GROWS Funk (from 2-11)
- ・山岸 潤作

上里市文化都市協会 (0595-22-0511) さま

秋祭りセンター情報

10月27日(土) 19:30 南津 上里市文化会館 さまざまホール

4F 1F あり 4000 (当日500円) 2F 3000 (3500円)

★高校生以下は当日学生証提示で半額700円

- ・PAPA GROWS Funk (from 2-11)
- ・山岸 潤作

上里市文化都市協会 (0595-22-0511) さま

秋祭りセンター情報

10月27日(土) 19:30 南津 上里市文化会館 さまざまホール

4F 1F あり 4000 (当日500円) 2F 3000 (3500円)

★高校生以下は当日学生証提示で半額700円

- ・PAPA GROWS Funk (from 2-11)
- ・山岸 潤作

上里市文化都市協会 (0595-22-0511) さま

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。地元である尾鷲市天満浦で子どもから、高齢者まで巻き込んだまちづくりを行っている松井さんからバトンが渡ったのは鈴鹿市の真弓多喜代さん。互いの参加グループ同士で毎年、交流会も行っています。

ベテラン生活改良普及員

……真弓さんは以前、県の職員をされていたそうですね。生活改良普及員として、40年ほど農村の生活改良普及事業に携わり、平成9年に退職しました。その事業のひとつに、貯蓄を上手に生かし、暮らしを良くすることを目的とした貯蓄生活設計普及地区の活動があり、在職中に金融広報アドバイザーに任命されました。在職中、この活動を行うことで地域の女性の地位が向上し、生活も豊かになって、地区全体が発展していく様子を肌で感じていました。それで、退職したら、これまでの経験をいかして、この活動を自分が住んでいる徳居町(とくすいちょう)で始めようって決めていたのです。

……自分が住んでいる地区で活動をしようと思ったきっかけは？ 鈴鹿の農業改良普及所に勤務していた時に、各地区の暮らしをいろんな角度から分析していたのですが、その時に徳居町にいくつか問題点があることを知りました。

これは私の個人的な体験ですが、他所から来た人が受け入れられにくい雰囲気があります。私は伊勢から嫁いできたのですが、最初は親しく話ができる人もおらず、お隣の人とちょっと話をするまで、ひと月くらいかかりましたから。

……在職中は、プライベートでの活動はしていなかったのですか？ 子どもが小さかった時、認可保育所をつくる活動をしました。当時は保育所も少なく、保育の内容も今ひとつ納得のいくものではなかったのです。最初、周囲の女性に声をかけたのですが、「そんな難しいことは男性じゃないと無理」と言われ、「じゃあ、男の人に集まってもらおう」と声をかけました。「保育所のことなんかで、男の人が集まってくれるわけがない」という声もありましたけど、実際に声をかけたら全員が集まってくれました。本当に必要なことならば、男の人であれ、女の人であれ、集まってくれるって、私、この件で自信をつけました(笑)。それが、今の活動にも繋がっています。

ときめき会 **真弓多喜代** さんに

聞く

**豊かな暮らしづくりを目指す「ときめき会」**

……現在、真弓さんが行っている活動を教えてください。平成11年9月から貯蓄生活設計普及地区の指定を受けて、金融学習グループ「ときめき会」という活動を始めました。平成15年の3月で地区の指定は終わりましたが、今も活動は続けています。

……金融学習グループって、難しい名前ですね。名前は難しいですが、中身は地域の人たちに連帯感を持ってもらい、より良い暮らしをしようというものです。

……活動内容は貯蓄の勉強など、金融関係に限るのですか？ 金融関係の勉強もしますが、お料理や生け花など、暮らしに役立つことも取り上げます。その他、子ども会や老人会と協力してイベントを行ったり、地区内のお寺に重要文化財になっている仏像があり、8月12日に行われる薬師踊りというのが伝わっているので、この踊りを盛り上げる活動もしています。

……活動を始める直接的なきっかけはありましたか？ 一つは金融広報アドバイザーとして研修をしている時に、「どこか貯蓄生活設計普及地区の指定を受けてくれる所はないかなあ」と相談されたことでした。もう一つは、平成14年11月に徳居地区の集会所ができたことです。

……それ以前は集会所は無かったのですか？ 徳居町の集会所は老朽化していましたし、合川地区の公民館は隣りの集落にあるので、自動車が無いと行きにくくて…。それで、市からの補助金に、地区160軒が1軒あたり月額4000円、5年間で24万円積み立てたお金をプラスして、集会所を建設しました。……それは真弓さんが呼びかけたのですか？

いえ、以前からあった話です。徳居町には自治会はあるのですが、メンバーは高齢の男性がほとんどで、女性が発言する場所が全然ありませんでした。でも、暮らしを良くするためには女性が頑張ることも必要でしょう。それで指定を受ければ補助もいただけるし、自分たちの暮らしを良くしながら、地域の女性が話をすることもできると考えて、知っている人たちに声をかけていきました。

……越してきた当初はお話をする人もいないということでしたけど、その頃にはもう仲良くなっていましたのですか？ 親戚関係の多い方に声をかけていきました。

……活動を始めるにあたって、難しいことはありませんでしたか？ 活動を始める前に、自治会長さんに相談したところ、自治会集会后で話をしてくれと言われました。県の資料を持って、金融学習グループをつくることを提案しましたが、「そんな難しいことができるのか?」「今は忙しいから、来年では」と反対の声もいくつかありました。……難しいこととは？

金融学習という名前を聞いただけで、難しいと思われてしまうようです。「来年に」と言われた時には、「鈴鹿に地区の指定が来るのは10年に一度くらいのこと。今年がダメなら、来年というわけにはいかない」と説明しました。その時に別の方が「せっかく意見を出してくれたのだから、資料をわかりやすく書き直してもらって、自治会で回覧しよう」と助け船を出してくれました。この時にはやはり悩んで、地元で何かを始めることの難しさを感じました。

……仕事の場合、反対されることはありませんからね。でも、反対の声を聞いて逆に、「やってやろう!」という気になりました。

た(笑)。そこで落ち込んでいたら、自分たちの暮らしも、地域も良くなりませんか?自分もこの地区で暮らすのだから、例え一歩でも、良くしていきたい。親しい人たちと声をかけながら、「ああ、良かったな」って思える暮らしを私はしたかったの。

……皆さんを説得して、活動を始めたのは?

平成11年の12月に準備会を行い、それ以来、月1回、集まりを持っています。正式に発足したのは平成12年5月です。

……準備会の時など、決めることが多くて人も集まりにくいのでは?2回目の準備会から会議だけでなく、きんかんの甘露煮のつくり方と試食を題材に入れるなどして、興味を持ってもらえるよう考えました。最初は、生活に密着したことをしないと人が集まりませんから。

退職したら、これまでの経歴をいかして、この活動を自分が住んでいる徳居町で始めようって決めていたのです。

……それは仕事で得られたノウハウですか?

そうですね。40年も生活改善の仕事をしていると、その地区の雰囲気、進め方がわかるようになります。この辺りは農家が多いですから、それを上手に生かすことが必要です。

……例会のテーマは身近なことばかりですか?

1年目は地元、徳居町のこと。2年目は鈴鹿市周辺。3年目は名古屋の日本銀行の見学など、遠くへも出かけました。テーマも3年目は金融広報の本来のテーマである、お金のトラブルや貯蓄のことに結び付けていこうにしました。

……会員数は?

限られた会員というのは無くて、来られる人が参加するという風になっています。皆さん、お仕事やおうちの事情がありますから、「来られる時だけ、来てね」と声をかけています。毎回、15人くらいは集まりますよ。

……講師は?

指定地区には金融広報アドバイザーを派遣してくれるますし、市役所の方などにもお願いしました。あとは、メンバーがそれぞれ得意分野を生かして講師役を務めました。

……運営費などはどうしているのですか?

指定地区へ出される補助金のほかは、みんな持ち出しです。料理の食材、講師への手土産、茶、菓子などは、私も含めて農家をしている人が多いので、持ち寄りました。お花や苗木なども持ち寄っています。

……ときめき会の活動を続けることで、町の方との関係は良くなりましたか?

女の人は集まって、暮らしの事を話せばすぐに仲良くなれます(笑)。ときめき会に参加される方はみんな前向きな方ばかり。毎年、皆出席の方を表彰しているのですが、80歳代の方は「この年になって、表彰状をもらうのは初めて」と喜んでくれました。別の方は「ときめき会を休んだら損をする」とまで言うてくれました。いろんなことを教えてもらえるし、おいしいものも食べられるして(笑)。



平成14年度12月定例会「私のおすすめするたべもの」。おいしそうな料理やお菓子がずらりと並びました。



真弓さんの自信作「柿あめ」です。

……良い仲間ができた感じですね。

仲間感謝しています。私事です。夫が病気をした時に、皆さんが励ましてくれました。自動車の運転ができない私を病院まで乗せてくれたり、本当に助けてもらいました。

……月1回集まるのは大変でしょう?

大変ですけど、やりがいがあります。それに本当に大変だと思ったのは立ち上げの時くらいで、後は楽しかったですよ。今では自治会とも良い関係で、集会所の調理場関係のことは、ときめき会に任せられています。

……地域の中でも、ときめき会が認められてきているのですね。

平成15年の10月には地元小学校の総合学習の時間に講師として、呼ばれました。アケビやクリなどの果物を持参して、私たちの活動についてお話ししました。その後、鈴鹿市の教職員の研究会でも、少しお話をさせていただきました。このことがあってから、子ども達が外で顔を合わせると、挨拶してくれるようになりました。

……地区の指定は平成15年度で終了しましたが、今後はどうする予定ですか?

これからは金融という分野に捕らわれず、いろいろなテーマを取り上げようと思っています。指定終了時に、これまでの集大成として報告書を作成しました。貯蓄推進普及地区の活動は昭和40年頃から、各地で行ってきたのですが、今まで、活動の報告書は1冊もつくられていません。ですから、活動を始めた時から、3年後には報告書をつくらうと考えていました。予算がありませんから、希望者には実費でお分けしました。難しいことばかり書いてあっては、買ってもらえませんから(笑)、これまで活動で取り上げたお料理のレシピを100種類近く掲載しました。そのおかげで、「役に立つから」とたくさんの方に買ってもらえました。

三重の伝統食を伝えたい

……ときめき会以外で、活動されていることはありますか?

三重県食文化研究会というのに、6年前から運営委員として参加しています。私は生活改善普及員という仕事をしてきましたが、この仕事では、食生活の研究や農産物の利用は欠かせない分野で、興味も以前から持っていました。在職中には三重の伝統食や食文化を冊子にまとめる仕事もしました。これらの冊子は新聞記事でも取り上げられ、大学や、民俗学を研究している方たちから「分けて欲しい」と希望が殺到しました。三重食文化研究会は最初、県の文化課の事業でした。文化課の方が津市の大川学園の大川先生のところへ相談に行ったところ、私を推薦していただいたそうです。冊子をつくる時に、大川先生とは一緒にお仕事をさせていただいたので、覚えていてくださったのでしょうか。在職中からずっと、「三重の伝統食を後生に伝えたい」と思っていたので、二つ返事で飛びつきました(笑)。研究内容は冊子にまとめたたり、県退職者向けの冊子などに発表させてもらっています。

ときめき会

鈴鹿市徳居町1065

Tel.0593-72-0627

真弓多喜代さんはこの人を紹介します。

野口佳子さん

家業である農業を通じて、地産地消運動の推進に取り組んでいるという野口さん。男女共同参画にも意欲的だそうです。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

R100

PRINTED WITH SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。